

17. 大学生による 「大学生向けごみ分別啓発活動」！

私たちの力で伊勢市を守ろう！

この活動では、皇學館大学生を対象にごみ分別や減量啓発を行っています。それだけにとどまらず、保育園や小学校にお邪魔して出前講座を実施しました。伊勢市役所の方々は大変やさしく、学生が提案した企画や発言した内容について親身になって聞いてくださいます。何かにチャレンジしてみたい方、主体性を磨きたい方などにおすすめの活動です。

メンバー数：3名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市環境生活部ごみ減量課
担当教員：筒井 琢磨（現代日本社会学部）
活動年度：R05, R06



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

この1年は、就職活動やそれに関わる活動が各々で多かったため、全員が集まる機会はほとんどありませんでしたが、時間を見つけて自分たちがやれることを行動に移せて良かったです。また、提案させていただきごみ減量課の皆様が積極的に実現してくださったことで、提案する勇気や力、根本的な問題を見つめ直す力がついたと思います。しかしメンバー増員や活発的な活動姿勢は課題です。ごみ分別アプリ「さんあ〜る」や本活動自体などの良さやメリットなどを上手く伝え、広めることが難しいと感じています。量のあるところで質はうまると信じて、たくさんの活動や啓発を行い、少しでもお役に立てるよう頑張れたら良かったと思っています。

シンポジウムでは、代表として発表させていただきました。このような場に来ていただける方々以外の方に問題意識などを身につけてもらう方法を探さないといけないなと思いました。

月別活動

- 6月 キックオフミーティング
- 9月 「皇學館地（知）の拠点」10周年シンポジウム学生発表
- 10月 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」啓発活動
- 11月 秋学期CLL活動説明会
- 1月 リユース事業の計画、実施



活動を通して学んだこと

本年度は、就職活動に追われ、全員が揃って精力的に活動できるタイミングが少なかった。しかし、SNSを活用しながら限られた時間で連携を取ることができた。そのことから、必ずしも対面で会議をしなくても良いと学んだ。また、積極的に主張したプロジェクトに関して伊勢市役所の皆様が実現してくださった。思いついたことは提案に代え、表現していくとよいことも分かった。現状がよりよくなるように、意見を交流させて議論を深める楽しさを学んだ。

実施主体からのコメント

伊勢市環境生活部ごみ減量課 ご担当者様

4年生の方々には卒業を控えご多忙にもかかわらず、昨年に引き続き「大学生向けごみ分別啓発活動」に取り組んでいただきありがとうございます。

今年度は、新たに導入したごみ分別アプリ「さんあ〜る」を皇學館大学生の皆様にご啓発いただいたほか、ごみの減量・資源化に関する標語の提案や大学内でのリユース事業に取り組んでいただきました。

特にリユース事業については、「卒業などで使わなくなった家具などが捨てられている、他の学生に無償で譲渡してはどうか」という提案を学生の皆さんからいただき、実現した企画です。周知期間が短かったこともあり、結果として、うまくできなかった部分はありましたが、学生の皆さんと反省点や改善点を検討し、改めて実施できるよう進めていきたいと考えております。

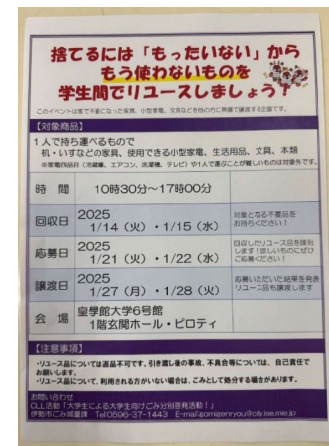
この活動では、ごみの分別に関して、どのようにご啓発するか、具体的に何をすることを考えるところから取り組んでいただきました。そのため、大変だったことや苦労したことも多々あったと思いますが、その中で得られた気づきや経験は、社会人になってからも役に立つと思いますので、これからも身体に気をつけ、頑張ってくださいね。

担当教員より

現代日本社会学部 筒井 琢磨

ほぼ同じメンバーで2年間活動を続けられることができてよかったです。2年目の今年は、皆さんは就職活動や卒業研究を抱えながらで大変だったと思いますが、やり遂げてくれました。様々な啓発活動をされた経験は皆さんにとっては大きな宝物になることでしょう。

また、しっかりと記録を残してくれましたので、皆さんの思いが次の世代につながることを祈っています。リユース時事業のアイデアが今後、本学に根づくことを願います。



成果物 / 制作物

こんな人におすすめ！

- ・イベントの企画・運営に興味がある人・保育園～中学校で出前講座をしてみたい人
- ・ごみ分別、SDG s 等に関心がある人・大学生を対象にした活動をした人
- ・地域に貢献したい人